

**原子力システム研究開発事業
事後評価総合所見**

<p>研究課題名：シンチレータスタック型ガンマ線イメージャに関する研究開発</p> <p>研究代表者（研究機関名）：河原林 順（東京都市大学）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：高田 英治（富山高等専門学校）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：富田 英生（名古屋大学）</p> <p>研究期間及び研究費：平成24年度～平成27年度（4年計画） 84百万円</p>	
項目	要 約
1. 研究の概要	<p>本研究は、万が一事故が起こった際に施設内の核種ごとの位置分布や放射線量を迅速に把握するため、可搬型であり、核種弁別のためのエネルギー分解能力を有し、角度分解能±45度・検出効率40%程度で360度方向に感度を有するガンマカメラとして、シンチレーション検出器を用いたシンチレータスタック型ガンマ線イメージャの開発を目的とし、以下の研究開発を行う。</p> <p>1) シンチレータ側面処理方法の検討</p> <p>2) 最適配置パターン of 検討</p> <p>3) 光読み出しシステムの構築</p>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>事故が起こった際に施設内の核種毎の位置分布や放射線量を迅速に把握するため、可搬型であり、核種弁別のためのエネルギー分解能力を有し、角度分解能±45度・検出効率40%程度で360度方向に感度を有するガンマカメラとして、シンチレーション検出器を用いたシンチレータスタック型ガンマ線イメージャを開発した。</p> <p>新しい着想であり、全方向への感度を有することができたなど、優れた成果を上げたと評価する。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている</p> <p>A) 優れた成果があげられている</p> <p>B) 一部を除き、相応の成果があげられている</p> <p>C) 部分的な成果に留まっている</p> <p>D) 成果がほとんどあげられていない</p>